

## 調査で判明！職場のちょうど良い雑談時間は3分 目指そう“腹三分目”雑談！

**ロバート・秋山竜次**さんが、なんと**自販機の住人“雑談三郎”**に！

雑談研究40年、良い雑談求めてたどり着いたのは「**社長のおごり自販機**」だった  
 “ダベリの無限ループ”“終わりかた迷子雑談”など、雑談あるあるにアドバイス

### “職場のちょうどいい雑談指南”WEB動画

「**職場の雑談あるある～雑談は腹三分目がちょうどイイ～**」 12月7日（木）公開

サントリー食品インターナショナル(株)は、職場コミュニケーションの活性化を目的とした「社長のおごり自販機」を展開しており、このたび、お笑いグループ「ロバート」の秋山竜次さんが、自販機の住人である“雑談三郎(ざつ だんざぶろう)”に扮した“職場のちょうどいい雑談指南”WEB動画「職場の雑談あるある～雑談は腹三分目がちょうどイイ～」を、12月7日(木)より公開します。

「社長のおごり自販機」は、2人で社員証を同時にタッチすると、無料で飲料がもらえる特別な自販機です。職場で気軽に雑談のきっかけをつくる自販機として、全国で360社を超えるオフィス・事業所に導入いただいています。このたび、雑談研究者 清水崇文氏(上智大学 言語教育研究センター教授)の監修のもと、設置企業120社へアンケート調査を行った結果、「職場のちょうど良い雑談時間は約3分」ということが判明しました。職場の同僚との適切な雑談時間＝約3分という発見を、日頃から意識できるようなキーワードとして「腹三分目雑談」と名付けました。

※調査結果プレスリリース <https://www.suntory.co.jp/softdrink/news/pr/article/SBF1431.html>

WEB動画では、具体的な“職場あるある”のシチュエーションを取り上げながら、秋山さんが扮する、ちょうど良い雑談を研究して40年の雑談研究家で、良い雑談が生まれる自販機に住み着くまでになった“雑談三郎”(65歳)が、調査結果で判明した“腹三分目雑談”を実現するためのコツを、「社長のおごり自販機」の紹介を交えながら指南します。「クリエイターズ・ファイル」などで様々なクリエイターに扮してきた秋山さんが、これまでにない新たなキャラクターに挑んでいます。

動画内で取り上げられるシチュエーションは、永遠に終わらない雑談に苦しむ「ダベリの無限ループ」や、終わるタイミングを見失った「終わりかた迷子雑談」など3種で、“雑談三郎”が困った雑談に苦しむ人々にアドバイスを送ります。住み家である自販機から突如登場するなどの、“雑談三郎”が見せるコミカルな姿とともに、「ちょうどいい」雑談に役立つ動画となっています。

#### ■新WEB動画概要

|         |   |
|---------|---|
| タイトル    | : 職場の雑談あるある～雑談は腹三分目がちょうどイイ～   |
| 出演      | : 雑談三郎(ロバート・秋山竜次さん)   |
| 公開日     | : 2023年12月7日(木)～  |
| WEB動画本編 | : <a href="https://www.youtube.com/watch?v=8CbhjSM56hY">https://www.youtube.com/watch?v=8CbhjSM56hY</a> |

#### ■新WEB動画ストーリー

雑談研究家&自販機の住人である“雑談三郎(ざつ だんざぶろう)”が、弟子の談子(だんこ)・談男(だんお)とともに、3つの“職場の雑談あるある”なシチュエーションを舞台に、ちょうどいい雑談についてアドバイスをします。

### (1)「ダベリの無限ループ」

「社長のおごり自販機」の置かれた、とあるオフィス。書類作業をしている若手社員に先輩社員が話しかけている。話が一段落して若手社員が作業に戻ろうとするも、「俺、最近キャンプ始めようと思ってるんだけど・・・」と先輩社員の話は続き、まさかの『ダベリの無限ループ』状態に。すると突如自販機がガチャッと開き、その様子を自販機の中から見ていた自販機の住人“雑談三郎”が、「はいはいはいー」と姿を現します。啞然とする2人を前に、“雑談三郎”は「終わりが見えない雑談してないかー？『雑談は腹三分目』まで。3分くらいがちょうどいいんだよ」と、一方的にアドバイス。「は、はあ・・・」と返事に困る先輩&後輩社員を尻目に、住み家の自販機に帰っていく“雑談三郎”なのでした。

### (2)「トークの氷河期」

オープンなスペースでリモート打ち合わせをしている女性社員。その後ろには作業員によってメンテナンス中の「社長のおごり自販機」が。「これで一旦会議終わり・・・ですかね！」と女性社員が画面の向こうの参加者に呼びかけるも、もじもじした返答しかなく、なんだか気まずい状態に。まさに『トークの氷河期』状態！ここで突然、リモート会議の画面に“雑談三郎”が登場。「雑談しすぎもよくないけれども、しなさすぎもどうなのかい？3分くらいでいいんだよ」と強引にアドバイス。「ほら、好きな食べ物はなんだ？」と、強引に女性社員を指名。突然のことに驚きながらも「ロコモコ・・・」と答える女性社員なのでした。

### (3)「終わりがた迷子雑談」

「社長のおごり自販機」の前で雑談をする2人。その近くでは女性2人と談笑している“雑談三郎”がいます。「今度また飲みに行こうね」「絶対行こうね」「じゃあ、来月ぐらいかな？」「来月とかね」と、お互いに切り上げ方がわからない、まさに『終わりがた迷子雑談』に陥った2人。そんな2人にキャスター付きのイスに寝転がった“雑談三郎”が突っ込んできます。驚く2人に「ちょうどいい長さの雑談。これをするにはこいつよ」と、「社長のおごり自販機」の使い方を教える“雑談三郎”。飲み物を手にした2人に、「気軽に誘えて、コンパクトにながら雑談よ」とちょうどいい雑談のコツを指南するのでした。

## ■雑談三郎プロフィール

御年65歳。

大学生の頃から雑談を独学で研究し続けてかれこれ40年。

最近、いい雑談が自販機の前で起きるということ突き止め、

それ以来、なぜか自販機の中に住み続けている自販機の住人。

小さな弟子の、雑談男(ざつ・だんお)、雑談子(ざつ・だんこ)も一緒に住んでいる。

頭には小さい紫色のニット帽を被っており、本人曰く冠位十二階と同じシステムだという。

## ■撮影エピソード

今回のWEB動画では、自販機に住む“雑談三郎”というキャラクターを演じた秋山さん。頭に小さな紫色のニット帽をかぶった準備万端の姿で、真剣な表情で打ち合わせに臨み、「おじいちゃんというよりおっさんという感じですか？」と、入念に確認をする姿には、秋山さんらしい“雑談三郎”を演じようという意気込みを感じさせました。

撮影中には、アドリブもバンバン飛び出し、秋山さんらしさが加わった映像を撮影することができました。合間には、弟子役で共演した子役に話しかけ、コミカルな動きを見せて大笑いを誘う様子も見られ、子役のみならず周囲のスタッフも笑顔になる和やかな一幕もありました。

秋山さんらしい明るく笑いの絶えない撮影が続き、撮影終了時には、スタッフから贈られた花束を受け取り、子役とハイタッチ。拍手で送られて、撮影現場を後にしました。

## ■調査結果情報

### 「雑談がちょっと生まれやすくなる5条件」を発見

雑談研究者 清水崇文氏(上智大学 言語教育研究センター教授)の監修のもと、設置企業120社にアンケート調査を実施しました。また、「社長のおごり自販機」の利用方法と合わせて分析した結果、「雑談がちょっと生まれやすくなる5条件」を見出しました。

#### 【雑談がちょっと生まれやすくなる5条件】

条件1「終わりの時間がよめる」

条件2「ながら・ついで」

条件3「共同作業」

条件4「目の前にある共通の話題」

条件5「適度な距離でヨコ並び」

腹三分目  
(終わりが見える)



ながら・ついで



共同作業



共通の話題



ヨコ並び



この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/softdrink/news/>に掲載しています。

### 職場の同僚との適切な雑談時間は「約3分」「腹三分目雑談」がキーワード

上智大学 清水崇文教授の講評

今回の調査において見出された、職場の同僚との適切な雑談時間は「約3分」であるという事実は、私にとっても新たな発見でした。心理学では、接触する機会が多ければ多いほど相手に好意を持つ傾向があるとされています(単純接触効果)が、1回の会話が短いからこそ頻繁に誘うことができ、その結果、ラポールも生まれやすくなります。今回発見した、職場の同僚との適切な雑談時間=約3分という発見を、日頃から意識できるようなキーワードにするならば「腹三分目雑談」と言えるでしょう。

調査の詳細は以下をご確認ください。

<https://www.suntory.co.jp/softdrink/news/pr/article/SBF1431.html>

## ■「社長のおごり自販機」情報



この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/softdrink/news/>に掲載しています。

「社長のおごり自販機」は、2人で社員証を同時にタッチすると、無料で飲料がもらえる特別な自販機です。職場で雑談のきっかけをつくる自販機として、2021年10月から首都圏エリアでサービスを開始、2022年5月から全国拡大しました。

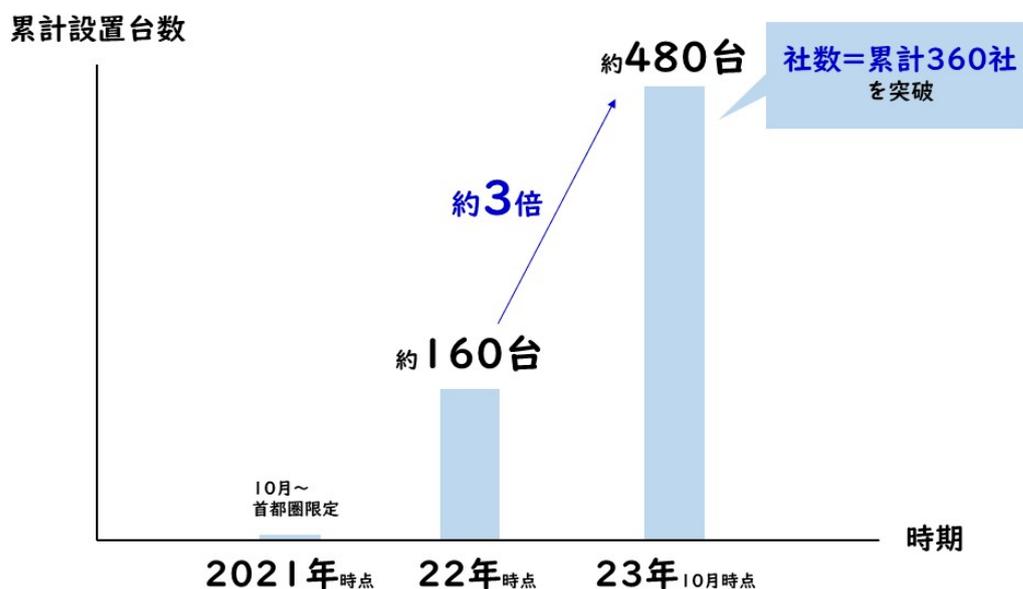
昨今、コロナ5類移行に伴う出社回帰の流れを受け、フリーアドレス制の導入・社内運動会の実施・社員食堂の充実など、社員同士のコミュニケーションを活性化する企業の取り組みが増えています。

そうした中、「社長のおごり自販機」の設置企業は、導入から2年で360社を超え、設置台数は昨年比で3倍規模<sup>※</sup>に増加。累計の利用者は、延べ600万人(300万ペア)を突破しました。本サービスは“あいさつ以上・食事未満”の気軽なコミュニケーションが生まれやすくなるのが特長で、利用者からは「気軽に話しかけやすい」「出社する楽しみが増えた」「初めての人でも話しかけやすい」といったお声を頂いております。

※23年10月末時点

<https://www.suntory.co.jp/softdrink/jihanki/ogori/>

## 22年比 約3倍 の規模に拡大



この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/softdrink/news/> に掲載しています。

以 上